

# 令和4年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立東小松川小学校

校長名 高木 伊織

名称 ひがこまタイム

学校の教育目標	ひがこまっ子は、みんな仲よし、夢がある ・思いやりのある子 ・考える子 ・やりぬく子 ・じょうぶな子
---------	--

## 国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。  
 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。  
 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

## 学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 自ら課題を見つけ、課題を解決するために、自分の方法で追究し、表現し活動を振り返ることができる子供を育成する。
- 2 課題を解決するために、いろいろな調べ方を試し、自分にあった学び方やものの見方・考え方ができる子供を育成する。
- 3 課題を解決するために、主体的にかかわり、ねばり強く創造的に、友達と協働的に取り組むことができる子供を育成する。
- 4 課題を解決する過程や解決した結果を振り返り、今後の自分の生活や学習に生かすことができる子供を育成する。
- 5 社会や他者と積極的にかかわり、みんなのために役立つことのできる子供を育成する。

## 育てようとする資質や能力及び態度

〈学習方法に関すること〉

第3・4学年	第5・6学年
・課題設定力を身に付ける ・多様な課題追究方法を考える	・課題解決の見通しをもつ ・調べたことをもとに情報を分析する
〈自分自身に関すること〉	
第3・4学年	第5・6学年
・対象に主体的にかかわる ・自分の思いや願いを大切にする	・自分の発想や方法を大事にする ・これからの自分のしたいことや生き方を考える
〈他者や社会とのかかわりに関すること〉	
第3・4学年	第5・6学年
・比べたり、つなげたりして他者や社会とかかわる	・自分と他者、社会とのかかわり方を考えて活動できる

内容	学習事項
第3学年 ・大すき わたしたちのまち ・わたしたちの野菜「小松菜」 ・タイムマシンに乗って	・栽培活動を通して「小松菜」に愛着をもつ。 ・人とかかわりを通して人のよさを実感する。 ・町の歴史、そこで暮らす人の思いや願いを知り、町とかかわりを考える。
第4学年 ・はすに思いをこめて ・手と手をつないで ・地域安全マップをつくらう	・蓮の栽培活動を通して、地域のよさを知る ・今の暮らしと昔の暮らしを学びそれぞれのよさを知る。 ・住んでいる地域を理解し、より安心安全なまちづくりを目指す。
第5学年 ・わたしたちとお米 ・地球を守ろうエコライフカンパニー ・新潟県を調べよう ・伝統を受け継ごう	・主食である米の栽培活動を通して、食料生産について考える。 ・エコ活動を通して、地球を守る気持ちを養う。 ・ウインタースクールで訪問する地域の自然環境や人々の暮らしの工夫やよさを知る。 ・東小松川小学校の伝統を受け継ぐ。
第6学年 ・伝統を伝えよう ・日光を調べよう ・世界と仲良し ・感謝の気持ちを表現しよう	・東小松川小学校の伝統を5年生に伝える。 ・移動教室で訪問する地域の様子や、歴史について知る。 ・国際理解の学習活動を通して、自分の生活を見つめる。 ・自分を支えてくださった方への感謝の気持ちをもつ。
第3～6学年 ・ひがこまドリーマー	・自分の将来について考え、将来の夢に向けた展望をもつ。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・各学年、地域とのかかわりを意識し学習活動を設定する。	・自己評価カードを利用し、見通しをもたせる。 ・人・もの・こととの繰り返しのかかわりを重視し思いや願いを活動に生かす。	・地域の人材を生かし、授業に参加してもらう。 ・関係諸機関を利用した授業づくり。	・ポートフォリオを活用した評価の充実。 ・自己評価カードを利用する。